



就労支援機関の皆さん

一般就労を目指す利用者の一步を後押し 支援の質を高めるヒントがあります！



就労支援機関の皆さまから、「就職に必要なセルフケアの講習が自機関にはない」「体調不良でお休みした時の振り返りをどのように行えばいいか分からない」「一般就労に向け、あともう一步踏み込んだ支援をしたい」というお悩みの声を伺っています。こうしたお悩みには、当センターで行っている職業準備支援が有効かもしれません。



就労移行支援事業所 A支援員

常により良い支援を模索していますが、行き詰まりを感じることもあります。



障害者職業カウンセラー

職業評価（就労アセスメント）を通じて、障害のある人の新たな可能性を探っています。

そんな両者が一般企業への就職を目指す利用者のため、タッグ（支援連携）を組みました！

職業準備支援の並行利用に至った経緯



A支援員

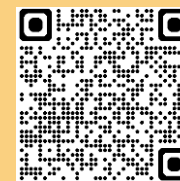
“そろそろ一般就労かな？”という利用者さんには、障害者職業センターの職業評価を提案しています。職業評価後、のケース会議で職業準備支援の利用を提案されました。

以前から職業準備支援の存在は知っていたのですが、“3か月間、毎日通所するもの”というイメージがあり、自機関との両立は難しいと思っていました。ところが、障害者職業カウンセラーから「カリキュラムの一部受講も可能ですよ」と聞き、“そういう利用の仕方ができるのか！”と驚きました。柔軟な対応ができることを知り、今後の支援の選択肢が広がったと感じました。

職業評価や職業準備支援の詳細は、左記のホームページをご覧ください。
職業準備支援の通所期間や通所頻度、受講内容は、対象者の状況に応じて柔軟に調整することができるんです！



職業評価



職業準備支援



障害者職業
カウンセラー

職業準備支援の効果と対象者の気づき



A支援員

対象者はストレス対処に課題があったので、週1回、ストレスをテーマとした講座に参加するため自機関ではなく職業センターへ通所するようになりました。

利用してみて、目に見えて大きな変化があったわけではありません。しかし、講座で作成した『ストレス温度計』を通じて、対象者のストレス状態を確認しやすくなりました。

以前は、自機関をお休みされた際に『特に理由はないけど、調子が悪かった』と言われると、それ以上は深入りできませんでした。しかし、職業準備支援で作成した『ストレス温度計』のシートを面談で活用するようになり、一緒にシートを確認しながら、休む前にストレスサインが出ていなかったかを振り返ることができるようになりました。

対象者本人も『そういえば睡眠がとれていなかった』と気づきがあったようです。睡眠についても、職業準備支援の講座の中で“体調管理の基本はまず睡眠から”と学んでいたため、今回の気づきは、講座で学んだことと自身の現状を照らし合わせる良い機会となったようです。

支援技法の活用と自機関での展開



A支援員

職業準備支援を開始する際、障害者職業カウンセラーから講座への同席を提案されました。以前から講習の内容を自機関の利用者に活かしたいと思っていたので、すぐに同席することを希望しました。

実際に参加してみると、自分自身も講座内容を直接学ぶことができ、自機関での支援の幅も広がったと感じています。特に『ストレス温度計』や『ナビゲーションブック』といったツールは、すぐに現場で活用できると感じ、事業所内のスタッフ間で共有しました。現在は、自分なりにアレンジを加え、他の利用者へも活用しようとしているところです。

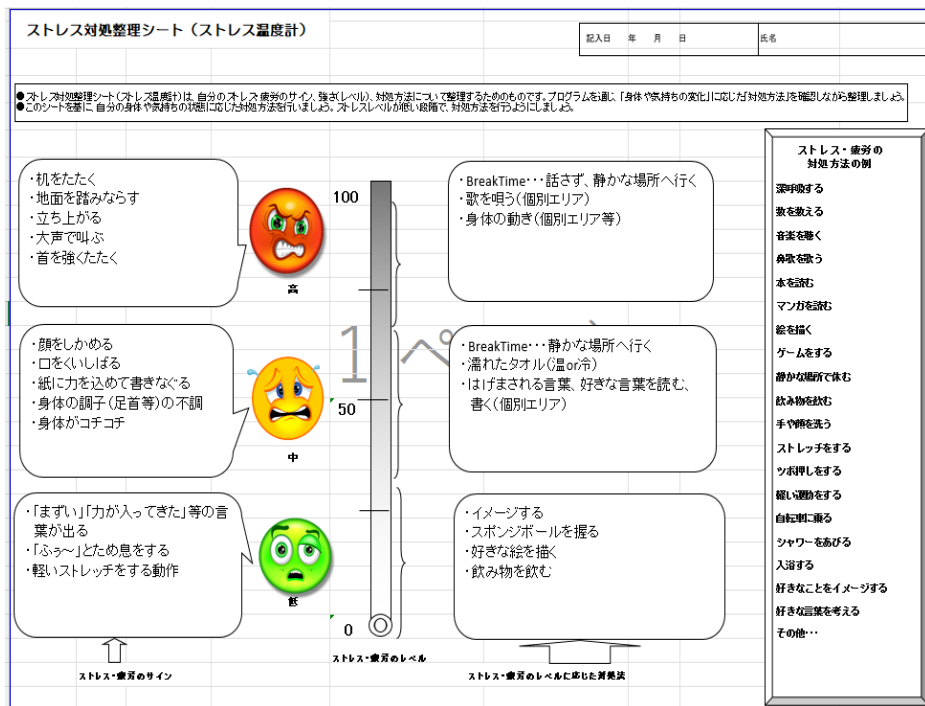
障害者職業センターには『関係機関への助言・援助』というサービスもあるんです！
詳しくは、左記からホームページをご覧ください。
各種研修はもちろん、支援技法についての実習、利用者に対する支援方法についての助言や協同支援も行っています。



関係機関助言援助



障害者職業
カウンセラー



ストレス温度計

ストレスのレベル毎のサイン、対処方法を整理します。講習で作成方法を学び、作業場面を通じて気づきをシートに記入していきます。

ナビゲーションブック

セールスポイント

・作業内容が理解できれば、効率的、計画的に仕事を進めることができます。

仕事について

・先の見通しが持てる予定を示されると安心して取り組みます。
・口頭の指示だけでなく、マニュアルやメモなど視覚的に確認できる物があると安心して作業に取り組みます。

コミュニケーションについて

・物事を率直に言ってしまう傾向があります。悪気はありませんが、嫌な思いをされている場合は、知らせていただくと助かります。
・言われたことは理解できますが、質問された場合は、正確に答えようとして言葉を選び、答えるまでに時間がかかることがあります。
・言葉を字義どおりに受け止めてしまいますので、冗談が分からないことがあります。

その他

「暗黙の了解」など周りを見て察することは苦手です。そのため、私の言動や行動に対して違和感がある場合は、率直にお話ししていただいたり、ルールを明確に示して頂けると助かります。

障害特性上の得意・不得意、対処方法や会社にお問い合わせ事項について整理したシートです。これまでの出来事や作業場面での気づきを面談で振り返り、作成していきます。

ナビゲーションブック



障害者職業
カウンセラー

今回は、就労支援機関と職業準備支援の並行利用についてご紹介しました！
より具体的な活用方法、利用提案の可能性についてご相談がある場合は、下記までお問い合わせください。



らしく、はたらく、
ともに



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 佐賀支部

佐賀障害者職業センター

TEL : 0952-24-8030

E-mail:saga-ctr@jeed.go.jp



当センター
ホームページ

